

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フタール枚方（児童発達支援）		公表日 令和7年 4月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		学習・運動など内容に合わせて部屋を分けている。	スペースの仕切り方を更に工夫し、安全確保に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		専門の職員を配置している。	更に役割分担等を明確にしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	玄関出入り口を含め、建物内はバリアフリー化されている。	通路や視線の切れる場所があるため、子どもの動きに注意していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日終業時の清掃を行い、消毒等もやっている。	現状の清潔感を維持するように職員の意識が必要だと思われる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	集中して療育に取り組める部屋を設定している。	より用途に合わせた使いやすさを検討したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	4	定期的に情報共有の機会を設け、改善に努めている。	常勤職員に限らず情報を得られるようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3	可能な限りの把握に努め、改善に努めている。	今後も保護者からの意向等を把握する機会を活用していく。(面談、送迎、評価表等)
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に職員会議を開催し、情報共有している。	より職員同士が意見を交わせる機会、形を考えたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	定期的に評価、振り返りを行っている。	外部評価が受けられる状況を検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	定期的な評価、振り返りと共に研修会を設けている。	研修などで得た情報や知識を日々の支援により反映していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	見直しを行い、作成・公表している。	今後内容を個々の利用者に対応できるものに修正していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		作成・評価をし、要望や発達段階を考慮したうえで、計画している。	利用者のニーズを検討した上で新たな支援計画を作成していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	全職員が適宜モニタリング・アセスメント等に参加し、子どもの情報共有に努めている。	検討結果を全職員が把握出来る様に努める。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全職員で共有し、計画を常に再確認出来る様にしている。	共有内容についても確認しつつ支援を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	定期的に職員会議を行い、確認している。	日々の朝礼等でも細かに確認していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	3	1人1人の状態を把握し、内容を設定している。	支援計画に項目を設定しているが、具体的な支援内容に関しては、更に検討が必要だと感じている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		担当者を中心に立案し、全職員が内容の把握に努めている。	立案者以外の意見やアイデアも取り入れていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	同じプログラムが続かないよう、内容を変更しながら設定できている。	繰り返しの刺激も大事にしているが、同じ狙いを持ったプログラムでもアプローチを工夫したい。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	それぞれの状況を把握し、個別・集団に偏りが無い様に計画している。	内容を確認しつつ、支援を継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	朝礼で利用者の確認を行い、プログラムの担当者が他職員へ情報共有している。	役割分担や内容について更に細かく情報共有していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	当日中には行っておらず、業務日報や朝礼で翌日に共有している。	終業作業時に優先順位の高い事柄だけでも振り返りを行いたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2	記録を残し、担当者が改善策を立案し、職員で共有している。	検証・改善内容の共有が不十分な面があるので共有を徹底していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2	半年に一度モニタリングを行い、保護者の意向を支援計画に反映し、見直しを行っている。	見直した計画を日々の療育に更に反映していきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		どの職員も出来る限りすべての子どもと関わる様にしている為、できている。	会議の内容等を全職員が把握できるよう努める。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4	必要があれば送迎時に保育園や学校と情報共有している。	引き続き情報共有をし、連携していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	発達支援センターと就学に向けて情報共有したり、サービス担当者会議で他事業所や園と支援についての共有が出来ている。	必要に応じて、連携に努めたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	保護者を通じて学校等の様子を聞くことはある。	直接やり取りする機会は少ない為、会議等を設定したい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3	発達支援センターの見学やモニタリングを行ったり、療育センターより見学、振り返りを通して助言を受ける事が出来ている。	内容の把握を全職員での共有に努める。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	地域の子どもの交流学習の機会は無かった。	まずは、お出かけ先での場の共有を交流の機会として活用していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	送迎時、デイや家での様子を保護者と共有し理解に努めている。	SNS等を活用し、子どもの状況を共有していく環境を整えたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	参加者を募る事が難しい面があり行えていない。	保護者会等を開催し、情報共有の機会を増やしていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に契約書や重要事項等説明書の内容を丁寧に説明している。	不明な点等があれば保護者が質問しやすい環境を整えたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		定期的な面談を行い、確認している。	子どもの成長や発達状況に合わせた保護者の意向確認を継続して行いたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		見学時のアセスメントを基に支援計画書について説明している。	引き続き説明を徹底していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	子どもだけではなく、家庭の様子にも気を配り、電話やSNS等で対応している。	保護者の困りごと等、相談しやすい環境を整えたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	体制が整っていない。	父母の会の開催を視野に入れて、保護者のニーズの確認に努めたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		事業所責任者が状況を把握し、保護者からの要望等を伺った場合にはできる限りの対応をさせていたっている。	苦情が出さない為にも、利用者のニーズを把握するよう努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2	月ごとの活動予定は長期休暇中のみ発信出来ている。	SNS等を活用し、日々の活動についての発信も増やしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		情報の保管、閲覧に関しての取り決めは徹底している。	取り扱いが曖昧な書類等についても留意していきたい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		概ね出来ている。	よりお互いに分かりやすいやり取りが出来よう視覚支援等を取り入れたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	地域の方を招待する行事は行っていない。	今後、地域交流も視野に入れた活動を検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	定期的な訓練は行っている。	警察、消防へ講師を依頼し、交通安全教室等の開催機会を更に増やしたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3	定期的な訓練は行っている。	具体的な計画やマニュアル策定し、様々な事を想定した訓練を検討、実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	一覧表を作成し、共有できている。	予防接種についても共有していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者を通じてアレルギーの有無や対応について事前に相談し、対応している。	おやつや時間等での席の位置など注意しているが、全職員への情報共有を徹底する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3	日々、危険な箇所や物の扱いについて話し合い、改善している。	更に具体的な安全計画を作成する。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	デイでの様子、家庭や学校での様子を共有している。	安全に過ごせるよう個に応じた支援を行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	記録を残し、共有している。	再発防止の為に検討の場を増やす。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2	適切な対応を行っている。	虐待等の問題は発生していないが、具体的な事例等を全職員で共有し、虐待に対する理解を深める。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		計画に記載し、契約時に保護者へ説明している。	虐待と同様、具体例を共有し、身体拘束に対する理解を深める。	